６地区は、板倉町の治水の歴史や構造を今に伝え、現在の板倉町の「水場」を象徴します。また、地区内には、施設・建造物・自然体系などの水場景観を構成する要素が点在し、それらすべてが文化的景観となります。

渡良瀬川地区

町の北を流れる川、現在は渡良瀬遊水地を経て利根川に合流します。かつては、鮭漁などが盛んでした。しかし足尾鉱毒事件以降、漁業は行われなくなりました。また、渡船場もあり交通路として重要な役割をしていました。

西岡渡跡

頭沼揚水機場

録事尊

雷電神社周辺地区

昭和５０年代初めまでは、板倉沼、亥之子沼、御手洗沼があり半島状に位置していました。雷電神社本社は、県指定重要文化財。末社は、国指定重要文化財。社叢林は、群馬県緑地環境保全地域に指定されています。

本社

末社

渡良瀬遊水地地区

足尾銅山鉱毒事件を契機として、大正時代から建設事業が開始された人工調整池です。群馬県、栃木県、埼玉県、茨城県の４県に跨っています。国内最大級のヨシ原があり、３月にはヨシ焼きが行われています。板倉町の治水に重要な排水機場が接続されています。

ヨシ原

ヨシ焼き

邑楽東部
第１排水機場

カスリーン台風
決壊口碑

谷田川地区

利根川水系の一つである谷田川は、町の中央を流れ、水場景観として最も重要な川です。河川敷には植物群落が形成されており、多くの動植物が生息しています。また貴重な「柳山」、「川田」、「沈下橋」があります。堤の内外には、多くの池沼がみられます。

柳山

川田

八間樋堰

沈下橋

利根川地区

町の南を流れる利根川の河道は、近世初期から近代に至り継続的に治水改修事業により形成されてきました。かつては、板倉と江戸の水運流通の重要な河川でした。

大久保河岸付近

谷田川排水機場

水神宮・風神宮

飯野河岸銘庚申塔

古利根地区

川の河道跡です。古来からの国境で、今も県境となっています。現在は、水路、堤などが残っており、河川景観を継承しています。提外地は水田風景が広がっています。

旧堤跡

呑口の
締めきり跡

お問い合わせ

■水場景観
板倉町教育委員会事務局生涯学習係　群馬県邑楽郡板倉町板倉２０６７　℡０２７６－８２－１１１１　http://www.town.itakura.gunma.jp/
■観光
板倉町産業振興課産業政策係　群馬県邑楽郡板倉町朝日野３－９　℡０２７６－７０－４０４０

2011.9